

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス
...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより

第24号
2004.11

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
URL: <http://www.npocommons.org>
E-mail: info@npocommons.org

今こそNPO 支援税制改正を

コ ラ ム

12月でNPO法施行から6年目を迎える。そもそもNPO法とは、1月に被災から10年目を迎える阪神大震災での教訓をもとにボランティアや寄付の受け皿となるような専門性と自律的に行動できる組織力をもつ民間の非営利組織を増やすことを目的に市民と国会議員の対話を経て立法化された。米国をモデルにしたこの制度は、届け出に近い形で法人をつくれる法人制度、誰もが活動報告や決算を閲覧できる情報公開制度、NPOに対する寄付を促進するための税制優遇制度の3つからなる。98年に設立したNPO法では法人制度と情報公開制度が実現したが、税制優遇は先送りされた。全国の運動により2000年に税制支援を受けられる認定NPO法人制度ができたが、寄付収入の割合などの審査要件が厳しすぎて17000を超えるNPO法人で認定は30に満たない。2002年の改正運動で若干緩和されたが、殆ど増えていない。米国のNPOの半数は税制優遇の資格をもって社会から寄付を集め力強い活動をしている。市民のためのNPOを市民が支えるという本来の姿にするために認定NPO制度の改正は欠かせない。と同時に、NPOが活動を市民に伝え、市民がNPOに参加する動きも大きくしていく必要がある。

(文 横田能洋)

茨城県認証NPO法人

244(10月27日現在)

内閣府認証県在NPO法人

61(9月30日現在)

見える世界が変わると表情も変わる



NPO法人 青少年自立援助センター
常務理事 河野 久忠 さん

NPO の ひとびと

ひきこもりに どう関わるか

ひきこもりは、病気や障害のことではない。不登校の延長で、そのままきっかけがつかめない人、医療的なケアが必要な人、なまけものタイプとか、色んな人がいるが、河野さんは、一歩も出られない人や、買い物にはいけても人と関われない人と多く接し、社会に関わらないことから生じる経験の穴を埋める活動をしている。部屋にこもった状態に対して、「待ちましょう」とアドバイスされることもあるが、待ちすぎているケ

ースがあるという。とまどった家族が、相談にいき、子どもへの圧力を弱めていくと、本人が落ち着いてきて少しほっとし、エネルギーがたまれば動き出してくれと期待をもつ。けれども、本人は先々のこと考えるのが苦しいという気持ちをこまかすために、ゲームやビデオなど何かに固執して時間を費やし考える時間を減らそうとしていく。この状況が続くと、きっかけがつかみにくくなるという。人と関わらず、テレビなど一方的に流れてくる情報のもとにいると、考えることが難しくなったり、想像力も乏しくなりやすい。誰とも接せず、自分なりに何かを試

10月24日、「ひきこもりからの社会参加と就労」をテーマにしたセミナーが水戸で開催された。企画したのは東京で青年の自立支援をしているNPO法人「育て上げ」ネットで、同ネットにも関わるNPO法人青少年自立援助センターの河野氏が講演した。青少年自立援助センターの前身である、タメ塾では30年に亘り青年支援を行ってきた。河野氏は12年に亘り全国の家庭を訪問して閉鎖された生活に区切りをつけることを援助している。

そうともしない状況が続いた場合は、状況に区切りをつけたり、家族以外の立場で客観的に関わる人や外で体験する機会が重要になると河野さん。

見方を変えるための きっかけづくり

調査では、ひきもっている青年の8割以上ができれば働きたいと答えているが、「こんなブランクがあいて何ができるんだろう」「また同じ痛い目にあいたくない」と不安を持ち、自ら動けずにいる人が多い。

河野さんは、定期的に家庭に行き、1年以上かけて「段階を積んでいけばできることがある」と伝えていく。待っても動かない場合、扉をあげ、連れ出すこともある。バッティングセンターにいたり、買い物をする中で、気分や見方も少し変わり、部屋と異なる環境にしばらくいて、少しずつ先が見えるようになると動けるようになるという。センターでは、利用する青年と共に、市の委託による家電リサイクル品の運搬や資源ごみの回収分別をしたり、ハウスクリーニングなどの仕事を行い、体を動かしたり指示に従って動くことに慣れる訓練をしている。その他ボランティア、ダンス、農作業なども組み合わせて行っている。就労支援で行っているコミュニティアンクルプロジェクトでは、地域のパ

ン屋、本屋、修理屋さんなどに研修受け入れ先を40箇所以上つくり、これまで27名が実習し25名が就職。まじめな青年が多くなると河野さん。

NEET対策の動き

「失業者でもなく就業に向けた学習もアクションを起こしていない人」「NEET」が増えているということで、厚生労働省も宿泊型で基本的な生活や人間関係の基礎をつくる自立塾という研修事業を検討している。民間でも宿泊型の施設はあるが、数はまだ少ない。今後、様々なタイプの自立支援機関ができ、青年が自分にあった場を選べるような状況をつくっていくためにも地域での親や関係者のネットワークづくりが重要になるとのこと。自分はカウンセラーではなく、交渉人に近いと河野さん。見方が変われば動きだせると信じ、日々青年を訪ねている。

(文と写真 横田能洋)

NPO法人
青少年自立援助センター
TEL 042-553-2575
10月24日のセミナーの主催団体
NPO法人
「育て上げ」ネット
TEL 042-527-6051
<http://www.sodateage.net>

TOPICS

コムズのグランドデザイン ～NPOへのパワーアップに向けて～

NPO懇談会を県南、県央、県北で実施し48団体/60名の参加をいただき活発なご意見をいただきました。

法人化後5年を経て、活動の節目を迎えるに当たりNPOの共通課題である資金・人材・情報の不足に関し専門的なNPO経営サポートを行うための「NPOバンド」「NPO人材センター」「NPO情報センター」のグランドデザイン構想が各界の方のご協力のもとにまとまりました。

この3構想がNPO団体の方々にどのように移るのか実態把握をすべく、「NPOの経営環境をよくするためのアンケート」をNPO団体に調査を依頼したところ73団体からの回答を得られた。

資金融資ニーズでは、必要と感じたことがある、今後必要になると思うと回答の団体は、55団体。NPO専門にする融資機関があったほうがよいと回答の団体は45団体。「何に資金が必要か」との質問では、人件費が多かった。

人材ニーズでは、有給スタッフ求人中、財源があれば求人したいとの団体は51団体。全ての活動で即戦力の人材を求めている。

広報ニーズでは、メディアを通して団体やイベントの紹介の団体は、77団体。

今回の調査で多くの市民に認知される活動実績を挙げるためには、活動資金の確保が不可欠です。それには限られた資金で、効率的に事業を推進できる人材が必要であり、且つ広報活動も必要です。

行政によっては、NPOに対する温度差があり、中間支援機関として、行政の橋渡し、書式の変更に伴う連絡、税制面での改善等の要望があった。

茨城NPOセンター・コムズは、茨城のNPOを支援するNPOとして、県内団体の様々な課題に耳を傾け、タイムリーな支援を推進したいと考えています。

情報掲示板(今月から来月にかけてのイベントなどを掲載しています)

イベント案内

芹洋子チャリティーコンサート・吉本興業演芸祭

筑波山の自然と環境を守るために芸能人が結集します。是非、皆さんもご参加ください。

日時 11月21日(日)午後1時

場所 国技館(東京都墨田区)

出演 ザ・ぼんち、ナポレオンズ、西川のりお・上方よしお他

会費 5,250円

主催 NPO法人 筑波山環境クラブ・世界多門内神道武道連盟

問い合わせ NPO法人筑波山環境クラブ Tel 0299-42-3584

ヨーガ教室

日時 11月24日(水)午前10時~正午

場所 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス)

持ち物 パスタオル、汗ふきタオル、動きやすい服装

参加費 会員無料、一般500円

申し込み・問い合わせ

NPO法人 水戸こどもの劇場

Tel&Fax 029-255-0908

E-mail: gekijyou@bird.to

<http://www.gekijyou.bird.to/>

石蔵公演「あわのうた」響きとうねり

日時 11月27日(土)午後4時~6時

場所 田井ミュージアム(つくば市神郡54)

出演

國仲勝男[バス、ワード、他]

(78年、山下洋佑グループに参加。81年に退団。その後、輪宝、ラパーブ、ヴィーナ、琵琶などの民族楽器、アラブの絃楽器などによる演奏活動を開始)

さなえ[身体表現]

(幼少よりクラシックバレエを始め、2000年から即興の身体表現者としてソロ活動を開始)

定員 50名

入場料 大人2,000円、小中学生・障がい者1,000円

主催・問い合わせ NPO法人 自然生クラブ Tel&Fax 029-866-2192

<http://www3.ocn.ne.jp/~jinenjyo>

NPO法人設立セミナー

来年度の法人設立を検討、準備している方向けに、法人化の手続きや書類作成の仕方のみならず、組織をうまく立ちあげるためのポイント、知っておいた方がよいことを解説します。

開催日程

1回目 12月2日(木)

NPO法人化の意味とメリット、設立の手続き

2回目 12月9日(木)

法人設立申請書類の作成の仕方

3回目 12月16日(木)

法人設立に伴う諸手続き、会計税務入門

時間 午後6時20分~8時40分

場所 茨城県県南生涯センター

(土浦駅西口 ウララビル内)

講師 茨城NPOセンター・コモンズ事務局 横田能洋

参加費 コモンズ会員:1回につき1,500円 一般:1回につき2,000円

申し込み・問い合わせ

NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320

E-mail: info@npocommons.org

「認定NPO法人制度」改正のための茨城集会

日時 12月4日(土)午後2時~4時半

場所 水戸市福祉ボランティア会館

大研修室(ミオス)

参加対象 茨城県内の市民団体関係者と県選出の国会議員

内容 認定NPO法人制度改正をめぐる取り組みと状況報告

報告 シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 松原明氏

茨城県内のNPOからの報告

全体討議

参加費 500円

主催 茨城NPOセンター・コモンズ

共催 NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会

締め切り 11月30日(火)

申し込み・問い合わせ 上記と同じ

活動交流会『アニマルセラピー入門講座』

日時 12月19日(日)午後2時半~

場所 阿見町民活動センター

(まい・あみショッピングセンター3階)

内容 ・アニマルセラピーとは何か?

・セラピードッグの育成について

・アニマルセラピーの活動について

対象 アニマルセラピーに関心をお持ちの方

参加費 無料

申し込み・問い合わせ

阿見町民活動センター

Tel&Fax 029-888-2051

E-mail: ami-vol@bz01.plala.or.jp

出展者募集

厚生労働省委託 若年者地域連携事業「合同企業説明会」募集

茨城労働局、県内ハローワーク、茨城県、教育庁とNPO法人雇用人材協会の共催により、平成17年3月、同18年3月卒業予定の大学生、短大生、専門学生、高校生及び、卒業後の求職者等を対象として開催するものです。企業及び団体は自らの活動をPRすることで、その後の活動への賛同を得ることができ、将来にわたる有望な人材を探すことが可能となります。

日時 平成17年1月21日(金)午後1時~4時

場所 ホテルレイクビュー水戸(水戸市町)

内容 会場内に企業及び、NPOごとのブースを設置し、各企業・団体と学生が一同に会し、相対方式により団体のPRや企業説明、質疑応答を行う。

対象企業・団体...活動をPRしたい、

求人している企業・NPO

対象若年者...就職・転職を希望する若者(概ね30歳位まで)

申し込み 11月30日(火)までに、参加申込書をNPO法人雇用人材協会へ

Fax (定数になり次第締め切り)

問い合わせ NPO法人雇用人材協会

(担当 生井さん・寺門さん)

Tel 029-301-1272 Fax 029-301-1273

お知らせ

本紙常備施設・お店

- ハモナカフェ(Tel 029-871-2157) 水戸芸術館(Tel 029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel 029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel 0294-72-8888) 自然食レストラン「パンブキン」(Tel 0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel 0294-72-8888) カフェ「ピアノシモ」(Tel 029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel 090-9933-9236) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel 029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(Tel 029-228-1313) 交流サルーンいばらき(Tel 029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel 029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel 029-309-4141) まちの駅みと(Tel 029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n(りつつん)」(Tel 029-856-0009) つくば市民活動センター(Tel 029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel 0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel 0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel 0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel 0296-24-3530) 県西生涯学習センター(Tel 0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel 029-826-1101) 県立図書館(Tel 029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel 029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel 029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel 029-248-4051) まちかど情報センター(Tel 0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel 029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel 029-273-3281) 阿見町民活動センター(Tel 029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel 0297-58-3710) コープフレール水戸店(Tel 029-246-1421) 学びの場「あがべ」(Tel 029-221-8836)

レーンポイ体験

10月17日午前9時、JR常磐線高浜駅を降りると、特定非営利活動法人アサザ基金(茨城県牛久市)の三森典彰さんが出迎えてくれました。バスにゆられて1時間、着いたのは自然豊かな鉾田町にある野友小学校。この日のテーマは「1日きり体験」でした。

校庭を抜けると、アサザ基金が地主から管理を請け負う里山が見えてきました。「今日は篠竹を刈ってもらいます」という三森さんの一言に、「シノダケ?」と首をかしげていると、ヘルメットと草刈りカマ、軍手を手渡されました。連れていかれたのは高さ5メートルにも及ぶ篠竹の大やぶ。三森さんによると、篠竹は他の植物に日光があたりないうちに成長してしまい、森を壊してしまう。1度刈ってもすぐに群生するため、何度も刈る根気が必要だといひます。「よし、森を再生してやろう」との意気込みで手を動かしました。はじめは順調でしたが、木のツルが篠竹にから



まって身動きのとれない竹に何度も遭遇。からまりをほどきながら伐採を続けましたが、2時間もすると、腰が痛くなってきました。と、そこで「お昼にしましょう」の声が響きました。「ふー、助かった」。

お腹を満たした後は里山に育つ動植物の見学へ。山を下った湿地帯で、まず出会ったのがガマ。ガマといってもカエルではなく、ナス科のガマです。先端の穂を手で軽くこすると、タンポポのような白い種子が風によって空中に舞いました。幻想的な光景にうっとりしながら歩を進めると、今度はミズヒキにご対面。上からは赤く、下からは白く見えることから付いた名であることを聞いて、花の付いた茎を何度も上下にして「なるほど」と感心してしまいました。

アサザ基金は「自分たちの手で自然をとりもどそう」を合言葉に環境再生事業に取り組んでいます。今回の木こり体験もその一つ。人間が手を入れてはじめて形成される林、手を入れなくても力強く育つ動植物たち。人間と自然の密接なつながりを五感で感じ取る絶好の機会となりました。



(文 関口慶太さん =フリーライター)

NPO法人 アサザ基金

〒300-1233 牛久市栄町6-387

Tel 029-871-7166 Fax 029-871-7169

五軒町だより

事務日誌にかえて

でこぼこ

突然外からけたたましい音がして、電話の相手の声が掻き消される...。いったい何が始まったのかと思えば、この建物のガス系の配管工事のようでした。そういえば、最近この辺り一帯は、工事のために道路が半分ふさがれている所がたくさんあります。そういえばそろそろ工事が多くなる季節。声も聞こえない、お客さんも入口まで通れない、道を歩けばデコボコ。困ったなあ、とついつい思ってしまう。でもこれも実は私たち住民のためにしてくれていること。迷惑に思ってしまったことを、一方で申し訳なく思ったり、こうして暮らしが支えられていることを自覚して、そんな仕事に感謝したりもするのです。



(文と絵 草間多佳子)